

認定社会福祉士 誕生！ 記念講演・シンポジウム

認定社会福祉士への期待



2007年の社会福祉士及び介護福祉士法の一部改正法の附帯決議で、社会的援助を必要とする者が増加していることにかんがみ、重度の認知症や障害を持つ者等への対応、サービス管理等の分野において、より専門的対応ができる人材を育成するための「専門社会福祉士」の必要性が指摘されてから約7年、調査研究、認定社会福祉士認証・認定機構の立ち上げなどを経て、2014年4月に新たな民間資格としての認定社会福祉士が誕生しました。

このことを記念し、記念講演・シンポジウムを開催します。認定社会福祉士はどこでどのような実践を行っているのか、社会福祉士が所属する施設機関等ではどのような活用をしていけるのか、それらをふまえて社会は認定社会福祉士に何を期待できるのか、認定社会福祉士制度の意義を再確認するとともに、認定社会福祉士が社会に果たす役割を考えます。

この度のシンポジウムでは、NHKドラマ10「サイレント・プア」のチーフプロデューサーである陸田元一氏をお迎えし、第三者としてジャーナリストの視点からご発言いただき、現代社会が求める認定社会福祉士の役割について考えます。

なお当シンポジウムは(財)社会福祉振興・試験センターの助成事業として実施します。

プログラム

13:00～	開会挨拶	橋本 正明 認定社会福祉士認証・認定機構長 (福) 至誠学舎立川常務理事
	登録証授与式	鎌倉 克英 認定社会福祉士登録機関長 (福) 禱友会常務理事 日本社会福祉士会会長
	経過報告	岡本 民夫 機構個人認定委員会委員長 日本ソーシャルワーカー協会会長 同志社大学名誉教授
13:30～14:15	基調講演Ⅰ	『認定社会福祉士へ期待すること』(仮) 岡田 太造 氏 厚生労働省社会・援護局長
14:15～15:00	基調講演Ⅱ	『認定社会福祉士制度の意義とこれからの展望』(仮) 柄本 一三郎 氏 上智大学教授
15:15～17:00	シンポジウム	『認定社会福祉士取得を目指す意義と認定社会福祉士への期待』(仮) 【コーディネーター】 市川 一宏 氏 ルーテル学院大学学事顧問 【シンポジスト】 佐伯 まどか 氏 日本医科大学多摩永山病院・認定社会福祉士(医療分野) 石飛 勝 氏 島根県出雲児童相談所・認定社会福祉士(児童・家庭分野) 久木 元司 氏 社会福祉法人常磐会 理事長 陸田 元一 氏 「サイレント・プア」チーフプロデューサー (NHK制作局第2制作センタードラマ番組部)
17:00～	閉会挨拶	大嶋 巖 認定社会福祉士認証・認定機構理事 日本社会事業大学学長

2014.8.2[土] 13:00-17:00

受付は 12:30-

文京学院大学

本郷キャンパス D館6階『スカイホール』
(東京都文京区向丘 1-19-1)

入場無料

定員：180名

主催 認定社会福祉士認証・認定機構
後援 福祉系大学経営者協議会

お申込みは裏面参加申込書にご記入のうえ、FAXにてお申込みください。
申込期限は7月25日(金)までですが、定員になり次第締め切ります。

アクセス

- 東京メトロ南北線
「東大前」駅下車(2番出口)徒歩0分
- 都営三田線
「白山」駅下車(A2出口)徒歩10分
- 東京メトロ千代田線
「根津」駅下車(1番出口)徒歩10分



認定社会福祉士誕生記念講演・シンポジウム

「認定社会福祉士への期待」参加申込書

下記の通り申し込みます。

申込日 2014年 月 日

(ふりがな) 申込者氏名		性別	男・女
連絡先住所 自宅 勤務先	〒 _____ 電話： _____ FAX： _____		
勤務先名称			
社会福祉士資格の有無	1.有り 2.なし		
職能団体への所属 (複数回答可)	1. 公益社団法人日本社会福祉士会の正会員団体 () 都道府県 2. 公益社団法人日本医療社会福祉協会 3. 特定非営利活動法人日本ソーシャルワーカー協会 4. 公益社団法人日本精神保健福祉士協会 5. その他 ()		
備考 (受講にあたり特に配慮が必要な事等が ありましたらご記入ください)			

【申込方法】 必要事項をご記入のうえ、次の申込先まで郵便またはFAXにてお申込ください。
(郵便の場合はコピーしたものをお送りください。電話での申込は受け付けておりません。)

【申込先・お問合せ】 認定社会福祉士認証・認定機構事務局(営業時間：月～金曜日 9:30～17:30)
〒160-0004 東京都新宿区四谷1丁目13番地 カタオカビル2階
公益社団法人日本社会福祉士会内
TEL 03-3355-6541 FAX 03-3355-6543 担当/北村・倉持

【申込締切】 7月25日(金)
申込締切日前でも定員となり次第締め切ります。

【受講不可の連絡】
定員を超えたため参加が不可の場合は、7月下旬に葉書にてご連絡します。

【受講票】
受講票は発行しません。当日は、送付された当参加申込書をご持参ください。

お預かりした個人情報は当記念講演・シンポジウムの運営目的以外には使用いたしません。